

特集「青年部」で育つ、育てる

～商店街の将来を見据えた組織づくり～

商店街愛溢れる「若者」の存在は商店街の宝です。「イベントにこんなアイデアがある」「新しい事業にチャレンジしたい」、そんな想いを抱いている「若者」の皆さん、「青年部」を組織して「親会」が築いてきた今日ある商店街が持つ、その有形無形の伝統やネットワークを実践で学びながら経験を重ねましょう。商店街のこれからは「若者」にかかっています。

近年「青年部」が立ち上がり、新風をもたらしている2つの商店街を紹介します。「立ち上げまでの道のり」、「若者の熱い思い」、「温かく応援する親会の思い」をそれぞれ伺いました。両者の相互理解は商店街活動に厚みをもたらします。



[team 黒船
KURIHAMA J
会長／藤原 雄さん]

「商店街のイベントはどこか他人事、ああ何かやつてなるべくでも、自店の売上減少や商店街の活気の下降を感じこのままじゃまずい。」という危機感でいっぱいでした。」と30年近く老舗居酒屋「升屋久里浜店」2代目の藤原さん。そんな老舗も不景気やチューイングの台頭で苦戦を強いられていました。縁

「商店街のイベントはどこか他人事、ああ何かやつてなるべくでも、自店の売上減少や商店街の活気の下降を感じこのままじゃまずい。」という危機感でいっぱいでした。でも、自店の売上減少や商店街の活気の下降を感じこのままじゃまずい。」といふ危機感でいっぱいでした。」と藤原さん。結成した青年部を「team 黒船 KURIHAMA」と命名、船出を

よこはま市商連

No.177 2016年(平成28年)
9月号

発行 一般社団法人 横浜市商店街連合会
施行人 石川清貴
〒231-0048 横浜市中区篠原町2-4-1 横浜大通り公論ビル5階
TEL045-250-0013 FAX045-262-2077
制作 横浜づくり研究所(株)フレイス
<http://www.yokohama-syoutengai.com/>



横浜トマリノス

新井一耀選手

&

齊藤隆会長



事例1

商店街が元気なうちに
「青年部」で
次の一手を打つ

2012年4月

「team黒船KURIHAMA」結成
横浜市・久里浜商店街協同組合



京急久里浜駅、久里浜駅周辺を商店街とする同商店街、大型店との共存共栄も成功させ、先進的な商店街として名を馳せていますが、利用者の高齢化などを課題も抱えています。



黒いTシャツの「team黒船」メンバーや仲間がいるから頼られる

りに船でした。早速「青年部」募集の回覧板を商店街に回したこと、各店の2代目を中心30人程の申し込みがありました。「自店への不安、ましてや商店街への不安」と初めて腹を割って語り合い、「みんなでどうにかしようぜ!」って気持ちがまとまるのに時間はかかりませんでした。」と藤原さん。結成した青年部を「team 黒船 KURIHAMA」と命名、船出を

あつて横須賀、そして日本商工会議所青年部に所属することになり、商店街ではない異業種の若者との交流を深め、地域経済について学んでいくと、もっと自分の商店街や地域のために動かなくては、としだいに強く思うようになつたそうです。理事長からの「青年部」立ち上げの話はまさに渡

ト「ボビーフュスター」の全運営を親会から任せられ、自分たちのような子育て世代を、更に商店街へ呼び込む仕掛けを試みようと青年部で近隣の小中学校を回り、子どもたちの出演を取りつけました。「当日は若い親子連れの笑顔がいっぱい、親御さんたちにも感謝されました。学校とやり取りを重ねる中で、先生方とも仲良くさせてもらっています。動けば何かカタチになる、そんな手応えを感じました。」その後も、高齢になつたお客様のための御用聞き事業「久里浜お使い便」を立ち上げたり、ご当地グルメ「黒船汁」を開発したり、発足から4年間、現在も精力的な活動を続けています。

「30～40代のメンバーは皆働き盛り、お互いの時間を融通しながら、それぞれの得意分野で『team黒船』を盛り上げてくれています。商店街のために一緒に汗をかける仲間がこんなにいるから頑張れるんです。理事長には遠慮なく自分たちの考えを伝えさせてもらっています。時には叱られることもありますが、親子ゲンカのようですが、面と向かっては言つたことはないですが、どうでも感謝してるんです。」と照れくさそうに話してくださいました。



ご当地グルメ「黒船汁」
イベントで販売

ト「ボビーフュスター」の全運営を親会から任せられ、自分たちのような子育て世代を、更に商店街へ呼び込む仕掛けを試みようと青年部で近隣の小中学校を回り、子どもたちの出演を取りつけました。「当日は若い親子連れの笑顔がいっぱい、親御さんたちにも感謝されました。学校とやり取りを重ねる中で、先生方とも仲良くさせてもらっています。動けば何かカタチになる、そんな手応えを感じました。」その後も、高齢になつたお客様のための御用聞き事業「久里浜お使い便」を立ち上げたり、ご当地グルメ「黒船汁」を開発したり、発足から4年間、現在も精力的な活動を続けています。

アーチード維持、大型店と提携しているWAONカードなど、常に先手先手で事業を仕掛けてきたからです。「人育て、も同じです、商店街がなんとか現状維持しているうちに、次世代、を育てないと間に合いません。自分たちがしつかりしすぎていたから、今まで若者の出る幕がなかつたのかもしれません。自分がじつかりしすぎていたから、今まで若者の出る幕がなかつたのかもしれません(笑)。『青年部』を発足させて、きちんとした継承を始めたからには、そのままで、生れた時から知つていて藤原くんに、そのリーダーシップを見込んで声をかけました。ある会合で『やるなら今しかない。商人になつたからには、その商売で十分生活できるよう、自分の子どもたちの学費まできちんと出せるように!』と集まつた青年部たちにはつばをかけました。自分自身が42歳で若い商店会長となり、交渉に調整、気配りなど、商店街の理屈を学んできました。これから商店街は、各個店が魅力を出すのはもちろんですが、お金にならないからといって、地域を大事にすることをおさなりにしていたらすぐに人出は減ってしまいます。彼らには、さらに広く地域を見渡す観点を養つて、頑張つてほしいです。」



森下守久 理事長

「うちの商店街が頑張っているのは、自主財源となる立地駐車場、

若者

【蒲田西口商店街青年部】
部長 望月康史さん(右)
副部長 杉山修一さん(左)

息のあつたお二人ですが、2代目同士、同じ商店街で商売をしながら昨年まで話したことなかったそ。たまたま杉山さんが顔見知りう。たまたま杉山さんが顔見知りの2代目を飲みに誘つたのがきっかけで、不定期に同商店街の2代目が集うようになりました。商店街について、それのお店について、

た。半年以上か

事例2

2015年8月
「蒲田西口商店街青年部発足
東京都大田区・蒲田西口商店街振興組合

「自分たちの力を商店街に生かしたい」と、皆が同様な思いを抱えていました。現理事の中でも若手である森田さんに相談、青年部発足の橋渡しをお願いしました。「僕らが生まされた昭和40年代にも青年部立ち上げを試みた。」と聞いていました。今回は絶対成功させたかつた。半年以上か

新しい衆志の運営に手応えを感じた
「蒲田コスプレこれくしょん」

けて自分たちの思いを丁寧に理事たちに伝え、組織としてきちんと継いでいきたいので規約も作成しました。」と杉山さん。「一部の人間だけ盛り上がるのではなく、とにかく巻き込もうと。チーン店の店長も店員も、商店街を応援してくれる地域の方も、まずは飲み会へ声かけをして、青年部へ誘い込みました（笑）」。商店街にお客さんを呼び込む、お客様が買い物をしてくれる、個店の売り上げが上がる、自分たちの家族を養える、「商店街の活性化は自分たちの生活に直結していると気づけば、本気になります」と望月さん。8人でスタートして、現在は30人になりました。最初のチャレンジは、青年部独自でスタンプラリーの企画・運営。以後も「蒲田コスプレこれくしょん」の初開催、多言語商店街マップの製作なども手掛けました。「商人って、売り出し広告の作成や日玉メニューの考案と、日々の商いの中は根回しをする。メンバーみんな生き生き活動してくれています。イベントに人手が出せないチーン店も販売を提供してくれることで、それぞれができるなどを実施することで一体感が生まれています。ボテンシヤルはたつぶりのうちの商店街、日本一元気な商店街を目指してます。」と杉山さん。「青年部を発足したときの初心とコンセプトだけは崩れることがないよう統括するのが僕の役目です。アーケードに事務所、事務員さんもいる。いまの恵まれた環境があるのは、現理事はじめ先人たちのおかげです。その恩恵の上で、むしろ商店街の歴史を知らない分、僕たちは自由に動きやすい。めまぐるしく変化するニーズに対応した活性化を進めていきたいと思います。」と望月さん。



親会



片山高栄 理事長

「理事メンバーが70代以上の親父世代の中、僕は最年少の50代です。ちょうど中間管理職みたいな感じで、双方の気持ちが良くなっています。理事が親だつたりすると、商店街への意見があつて忙しいだろうと、彼らにイベントの手伝いを頼むのも遠慮気味でした。実は若者たちが商店街について考えてくれていたと知り、正直嬉しかったですね。飲み会の仲間内の懇談から一步進めて、是非商店街の会議室

で議論してほしいと伝えました。ここ1年、青年部の団結力が高まっています。やつてくられるので、会合の出席率も親会のほうが負けています。「世代交代」というものが見えてきて、少しはつとてしまつたのかな（笑）。しばらくは我々がアーケードなどのハード面を守り、青年部は販売促進で力を発揮する、という役割分担でしょうか。あつと驚くアイデアを持つてきますよ（笑）。せつかくの若い人の考えはできるだけ取り入れ、つぶさないよう見守っていきたいです。自分たちがやりたいことではなく、地域のために」という精神だけは忘れずに精進してほしいですね。彼らの頑張りは大田区にも大変期待していました。

親会



森田充浩
理事兼青年部相談役

モノを売るだけの時代が終わり、商店街に求められる役割が多様化しています。

地元に根を張り生計を立てている2、3代目、また、その商店街での成功をかけて出店した若き店主など、それぞれの商売繁盛は、商店街の活性化、さらには元気なまちづくりの先にあります。

若者ならではの情熱や新鮮な視点、垣根のないネットワークづくりが、これから商店街の起爆剤になるかもしれません。「青年部」という組織づくりはまさにその第一歩、現場で人材を育てることで10年後、20年後の次世代リーダーが継承されていくのです。

区商連会長による うちの区紹介します!

VOL.5



磯子区商店街連合会会員
横岸橋通り商店会会長
堤 幸雄
日立チーンストール
「ツツミデンキ」

来年は区制90周年

磯子区は、古くは半農半漁の地域で、海苔の養殖が盛んな根岸湾には海苔ひびが並んでいました。埋め立てが広がるまで海はすぐそこ、僕が子どもの頃は家から海水パンツで遊びに行っていました。田舎のよさを持ち合わせながらも交通の便がいいので、腰を落ちます盛り上げていきたいね。

「磯子区商店街朝市」30回

平成24年に始めた「磯子区商店街朝市」が5月で30回を迎えました。毎月開催から毎月にして準備期間を増やしたり、近隣に工場のある日清オイリオのイベントとタイアップしたり、試行錯誤しながらも定着しました。今後マンネリにならないよう工夫しないといけないね。「お客様どんから来たの?」「根岸橋の商店街ってど?」「なんて会話が自然と生まれる朝市の空間。「商店街」「商品」「人」を直接アピールで

きるせつかくのチャンス、もっと出店数を増やせたら、と思っています。

三河屋のサブちゃん

お客様が家電を買おうとするのは数年に一度です。だからこそ、その出会いを大切に、必ず30分は会話をして精一杯丁寧な仕事をします。モノだけじゃない、安心と信頼にもお金をいただいていますからね。数年後にも「前回は...」とスムーズに会話をできるようにきちんとデーターを管理しています。遠方に引っ越したお客様から「どうしでもツツミさんにお願いしたくて」と注文がくると嬉しくてね。鍵を託されたり、家族の相談に乗つたり、なんとも(笑)。三河屋のサブちゃん、ザザ工さん一家に信頼されるスーパー御用聞きです。素晴らしいよね、個店の商人としてあるべき姿勢そのものだと思っています。

80歳まで走り続ける

行政や地域が商店街を応援してくれていることに慣れちゃいけないんです。とかく商人って自分の地域や業界のことしか知らないから、視野と人脈を広げて、自分の商売や商店街を客観的に知ることも大事。僕は「80歳まではお店も商店街も頑張るから」とお客様に宣言しています。若い人を育てたい、磯子の魅力をもうと広めたい、やることはたくさん。商人って「忙しい」「大変」ですがお客様へ広くお話しする機会や学習塾などの新業種にも即した商店街活動も見い出しています。今日も商売ができます。

会長一押しの お店!

Lady's マルマツ (杉田駅前商店会)
磯子区杉田1-20-15 TEL 771-2230

ゆったり広い店内でゆっくり買物を楽しめるサロンのような婦人服店。ワンランク上の婦人服が出迎えます。



商品へのこだわり

戦後、この地で初代が家業を創業。百貨店などを経て20年前に婦人服専門店に。40~50年来のお得意さんも多く、「小さい頃の僕を知っているお客様には頭が上がりません(笑)。」と三代目の松木寿廣さん。カジュアル衣料が主流の中、高級ブティックと同じ洋服も扱うため、商売は難しくなっています。だからこそ、自店の最大の特徴である「本物を提供すること」を大事にしたい。今後、商店街らしい気概な外販が展開出来ないか等、次なる手を模索しているそうです。

お客様に寄り添う接客

10年前から洋服のリブオーム業にも着手しています。新しい若いお客様との接点をもつと作りたい、と始めましたが、自店で何十年も前に買ってくれた洋服を「結婚式に着て行ったの」「父がお祝いで貰ってくれたの」とエプロードと一緒に持ち込む年配のお客さんたちからの「いいものだから捨てられなくて」という言葉がやりがいになっています。松木さんは言います。「お客様の心にどこまで入っていくか、20代の頃は毎日が勉強、やがてお客様が、買い物という時間も買物に来ていることに気づき、ひとりひとりを大切にした接客の積み重ねで今日も商売ができます。」

これからの商店街

商店会長も務める松木さん。飲食や物販がメインだった時代から、いまでは商店街の店舗構成も随分様変わりました。「商店街が人で溢れ、当たり前にモノが売れたのは過去の話。まさに過渡期ですね。夏祭りに防犯パトロールという従来の活動だけではなく、医療機関や学習塾などの新業種にも即した商店街活動も見い出しています。なかなかはと感じています。」
買い物に迷うお客様には男性目線からの率直なアドバイスを。「今のところ好評みたいですね(笑)。」と松木さん。



This is our ward



緑区

緑区商店街連合会会長
中山商店街協同組合理事長
加藤 龍昭
前野販売「銀の杵 中山店」

区商連会長に区のこと、商店街のこと、商売のこと、ざっくばらんに語っていただきます。会長の区内一押しのお店も紹介します。

自然豊かな「緑区」

「緑区」は、その名のとおり自然豊かな環境で、緑被率(*)は市内で一番です。JR横浜線が開通する以前から今の駅前あたりに、蕎麦屋や下駄屋などの古いが生まれ、一方になると若者で賑わっていました。分区のたびに区商連組織を結成しなおし、商業基盤を先輩たちが守つてきました。きれいな空気(*), 今も商業の中心である駅前から平地がずっと広がり、とても生活しやすい環境です。人口も増え続け、商業発展の伸び代はまだまだあると思います。

商店街を経営する

僕が若い頃、商店街イベントといえばガラガラ抽選会だけ。商店街が収入源を確保して、もっと事業を展開したいと思いました。僕は思い立つとすぐ行動する性格です(笑)。あちこち調べて「駐車場経営」の収益性、将来性を確信し、50人の地主さんに交渉しました。苦労しましたが、その安定収益が今日の商店街を支えています。僕は常

うちに商店街は、今年35年目となる「中山まつり」のほか、地域資源である自然を活かすと、数年前から「芝桜まつり」「紫陽花まつり」を開催し、年々お客様が増えています。花の観光名所を作るのが決して最終目的じゃない、「まり」という魅力あるマグネットを商店街が作りだし、人を引き寄せるから、あと各個店が頑張って商元に繋げてほしいんです。今年は「帰りに寄ってくださいね」と声をかけ、商店街マップを配布するなど、来店効果がありました。

商店街大好き人間として

「我が商店街人生に後悔なし」。組織力や地域との信頼関係などを丁寧に継いでいきたいと思っています。商店街に何が必要か、何ができるか、考えるのは商店街のことばかり。うちのお客さまは年配の方が多いから開店時間を工夫して「早起き商店街」なんぞどうだろう、「朝割引」もつけたら喜ばれるかも、とかね。根っから商売、商店街が好きなんだす。活気に溢れた時代の再来は難しいかもしれない、でもせつかくの商人、「たくさん儲けて、商店街活動に熱く!」と若い人にエネルギーを送りたいですね。

(*)緑被率：一定の広がりの地域で、樹林・草池、農地などの緑で覆われる土地の面積割合。

商店街ができる」と

「株式会社中山商店街」を経営しているような意識を持っています。

会員
一押しの
お店!

繁盛店になるまで

オーナーシェフの渡辺政行さんは調理学校卒業後、「洋食は柄から」と中華の道へ。青葉台聘珍楼などで10年間修行を積んで12年前に長津田で開店。最初の3年間は思つもろくにお客さんが来てくませんでした。でも、料理が口に運ばれた時のお客さんの反応や笑顔を見て、「まだウチの味を知らないひとが多いだけ。」と自分の腕を信じて厨房に立ち続けた結果、美味しいしさは口コミで広がり、右肩上がりに客足は伸びています。今春、隣のつくし野駅近くに2号店をオープンしました。

「本気」で商売する

「よその中華とは違う」とお客様が感動する勝負メニュー、皮から手作りの点心料理と、専用釜で焼き上げる焼豚が人気の臥龍。たわりの材料に良質の油で化粧調味料を使用しない中華は、「飽きない」「優しい味」と幅広い年齢層にファンを増やしています。「明日バタツとお客様が来なくなるかもしれない、そんな恐怖は實にあります。だから毎日が真剣勝負なんです。」

イベント出店も大事な「商売」の機会

開店当時、「よそ者」「若者」であった渡辺さん。まずは地域に溶け込みたいと商店街に加入。以来「長津田ふれあいサマー」「エスター」「長津田まつり」での出店を続けています。「お客様に料理がアピールできるチャンスをいただいていると捉えてます。イベント時はお店を閉めて出店しているので、お店と同じクオリティのものの提供を心掛けてると同時に、きちんと売り上げることも絶対です。これからも美味しい中華でイベントを盛り上げます。」と渡辺さん。

小さい頃から大のプロレスファンという渡辺さん。「本気のバーマンスで感動を与えてくれるから」とのこと。同じ心意気で商売に取り組まれています。



香港飲茶 **臥龍** (長津田商店街協同組合)

緑区長津田4-5-1 TEL984-1009 <http://www.e-garyu.jp>

長津田駅西口からすぐ、身近な商店街で本格中華が堪能できると、地元はもちろん、区外にも常連さんが多い長津田の人気店です。



「ガチあげ!」予選ラウンド
通過商品発表&決勝ラウンド
開催のお知らせ



他都市商店街
視察研修会

10月20日(木)

今年度の他都市商店街
視察研修会の訪問先は、
群馬県前橋市前橋中央
通り商店街(振)に決定

しました。同商店街は空き店舗を「学生専
用シェアハウス」として活用、若者の居住人口
を増やし、商店街活性化を図っています。
(参考一弊紙176号特集)

貸切バス利用、参加費は10,000円(税
込)です。

募集店員は先着40名(先着順)。
※定員に達し次第〆切。



集客力アップ店頭販促セミナーへ2日間コース開催!
受講者募集中

10月20日(木)

店舗ですぐに取り組めるアイデア満載の実践的な店頭販促セミナー
(2日間コース)を開催します。お店の集客力アップに取り組みたい
商店主の方は必見! 詳しくは、ホームページもしくは、経済局商業
振興課へ。

日 時 平成28年10月26日(水)および11月15日(火)
各回とも18時~21時

場 所 横浜市神奈川公会堂1号会議室

定 員 30名※申込先着順

参 加 費 無料

テマ ついつい手が伸びる! しがけで先る店頭販促を学ぶ2日間!
(注目を集める5つのダッシュ、お客様を動かす4種のしがけ)

申込先 横浜市経済局商業振興課
☎ 045-671-4235

講 師 鶴はびつく 代表取締役
(女性)

講 師 黄喜麗 実行
(女性)

日 時 平成28年11月17日(木)
14時~15時30分開場※予定

セミナーを開催します。

飲食店向けインバウンド対策

セミナーを開催します。

訪日外国人旅行者の急増を背景に、横浜
市と㈱ぐるなびは連携協定に基づき、第

2回インバウンド対策セミナーを開催し
ます。お申込みは文化観光局観光振興
課まで。

日 時 平成28年11月17日(木)
14時~15時30分開場※予定

場 所 横浜ワールドポーターズ
6階イベントホールA

対 象 飲食事業者等

参 加 費 無料

チ テーマ 訪日外国人旅行者

受 入 の コ ッ 等 ※予定

申込先 横浜市経済局観光振興課
☎ 045-671-2596

※入場券&ポスターは10月下旬
各区分券券由届け

平成28年度役員改選

6月2日(木)平成28年度第1回通常総会にて市商連の今期役員の改選について検討し承認されました。11年間市商連会長を務めてきた岡野誠氏(鶴見区商連会長)が任期満了につき退任。同日開催した第2回理事会で新正副会長が決定しました。

会長 石川清貴氏(神奈川区商連会長)新任
副会長 石垣徳知氏(湘谷区商連会長)再任
村上弘氏(保土ヶ谷区商連会長)再任
青木謙之氏(泉区商連会長)新任

会長 石川清貴氏(神奈川区商連会長)新任
副会長 石垣徳知氏(湘谷区商連会長)再任
村上弘氏(保土ヶ谷区商連会長)再任
青木謙之氏(泉区商連会長)新任

「ガチあげ!」予選ラウンド
通過商品発表&決勝ラウンド
開催のお知らせ

「ガチあげ!」決勝ラウンド進出商品

地獄そば春の味メンチカツ	そば香妙庵本店	港北区 炒庵寺ニコニコ会
自家製メンチカツ	飯原精肉店	港南区 清谷駅通り商店会
やみつきメンチ	村井肉店	泉区 (協)上新田ショッピングセンター
天使の海老フライ	ベジタブルキッチン葉	栄区 新大船商店街
ヤンキースハイカラカツ	ヤンキース	中区 関内駅前商店会
白鳳からあげコンビ	トリコロ	港南区 丸山台商店会
豚塩カルビの香林揚げ	蓮香園新笠	中区 横浜中華街市場通り会
もずく天ふら	コメコメ	旭区 白根通り商店会
メンチ	ミニショップやま	金沢区 (協)金沢八景共栄会

「ガチあげ!」エントリー 51
商品の中から、見事予選ラ
ウンド(6月1日~7月31
日投票)を通過した上位
9商品が、9月17日(土)
横浜のN・1揚げ物の祭
だき、金賞1点、銀賞3点、
銅賞5点を決定します。

横浜のN・1揚げ物の祭
にその場で食べて投票いた
冠はどうらの商品に!」

場で開催する決勝ラウン
ドへ進出します。お客様
にその場で食べて投票いた
だき、金賞1点、銀賞3点、
銅賞5点を決定します。

横浜のN・1揚げ物の祭
冠はどうらの商品に!」

第40回ハートフルコンサートの
お知らせ



学生専用シェアハウス
「シェアプラット場岸川」

会場 横浜文化体育館(中区)
昼の部 開場12時 開演13時
夜の部 開場16時 開演17時

※入場券&ポスターは10月下旬
各区分券券由届け

YOKOHAMA 商店街 NEWS

今年度も大盛況! 「商店街プロレス2016シリーズ」絶賛開催中!

今年で5年目を迎えた商店街プロレスシリーズ、前半戦も会場を熱気の渦に巻き込んでいます。初開催の反町駅前通り商店街が、商店街プロレス発祥の六角橋商店街連合会に代り挑み神奈川区対決が実現されるなど、新たなプロデュースをお客さんを魅了しています。昨年大好評だったスタンブランチ企画も展開、商店街プロレス10会場を廻った先着100名様に「商店街プロレス2016シリーズオリジナルTシャツ」をプレゼント。磯子区・プララ杉田専門店会では、休憩時間の一部を利用し、リング上で会員各店主による自店の紹介。商店街も熱い宣伝を繰り広げました。大日本プロレスが惜しみなく魅せてくれる本気のパフォーマンス、サービス精神、お客様の熱い声援に商店街も負けではないかもしれません! 商店街あげて後半戦も盛り上げていきましょう。



華麗な技の数々。
「もっと観たい」と
リピーターが増加中

2016後半
残り6試合

- | | |
|-----------|------------------|
| 10月16日(日) | 西区・戸部大通り商店会 |
| 10月29日(土) | 都筑区・北山田商業振興会 |
| 10月30日(日) | 瀬谷区・いちょう通り商店会 |
| 11月5日(土) | 保土ヶ谷区・天王町商店街協同組合 |
| 11月6日(日) | 戸塚区・戸塚駅東口ラビス商店会 |
| 11月19日(土) | 金沢区・金沢文庫ふれあい商店街 |

会場が一体となる恒例のコール
「プロレス見るなら大日本! 買い物するなら商店街!」



中区初開催!

青空の下での場外乱闘を繰り広げるのも
「商店街プロレス」の醍醐味

「来年はウチで
開催したい!」
という商店街は
まずは来て
観てください!



NEWS 「グルメフェスタ仲町台の夏祭り」祝20回



毎年恒例。
大人気のbingo大会

7月23(土)・24日(日)、都筑区・仲町台商業振興会は「2016 グルメフェスタ仲町台の夏祭り」を開催。都筑区発足を機に商店街も盛り上げようとスタート。今年度20回目を迎えた。飲食店はもちろん、他業種会員も腕を振るう充実したフードメニューがお客様に大好評で、bingo大会や各種ステージ、盆踊りなど、12時から20時半までゆっくりたっぷり楽しめるプログラム構成。「2白間の長丁場ですが、会員もスケジュールをやりくりして頑張ってくれています。会場のせせらぎ公園管理事務所も事前に除虫や草刈りをしてくれるなど、地域の皆さんのが協力に助けられています。地域のコミュニケーションの場として始めた飲食イベントですが、子どもたちが毎年楽しみしてくれる地域の恒例行事に定着しました。緑あふれるよい環境で「ふるさと仲町台」の夏の思い出として続けていきたいですね。」と同会連会長。



来場者であふれたせせらぎ公園

NEWS 「大賀の郷 3万本のひまわり畠」公開

7月21(木)~31日(日)、上大岡駅近くのひまわり畠が一般開放されました。港南区・上大岡駅東口商店会、上大岡中央商店街(協)、上大岡東新専門店会の3商店街が主催。

上大岡の商店街に足を運んでもらうきっかけにと取組み、今年で6年目を迎えました。23日(土)には「ひまわりフェスタ」を開催し、ひまわりのプレゼントや地元野菜の販売、スタンブランチなどを楽しみに早くから入場を待つ人があふれました。「県外からも多くお越しいただいています。今年、鑑賞の後に商店街でゆっくりしていただけたら」とサービスクーポンの配布も試みました。畠を貸していただき、種まきから草とり、開放日の当番など、地元小学校や町内会、有志の方との連携の賑わいです。開花時期には毎年ドキドキせ



「ひまわりフェスタ」開催のテープカット



られます。秋に開催する絵画展と合わせて、区の花「ひまわり」にあやかって、上大岡をますます元気にしていきます。」と上大岡駅東口商店会の大塚会長。

上大岡駅東口商店会 大塚会長より来場者へご挨拶

